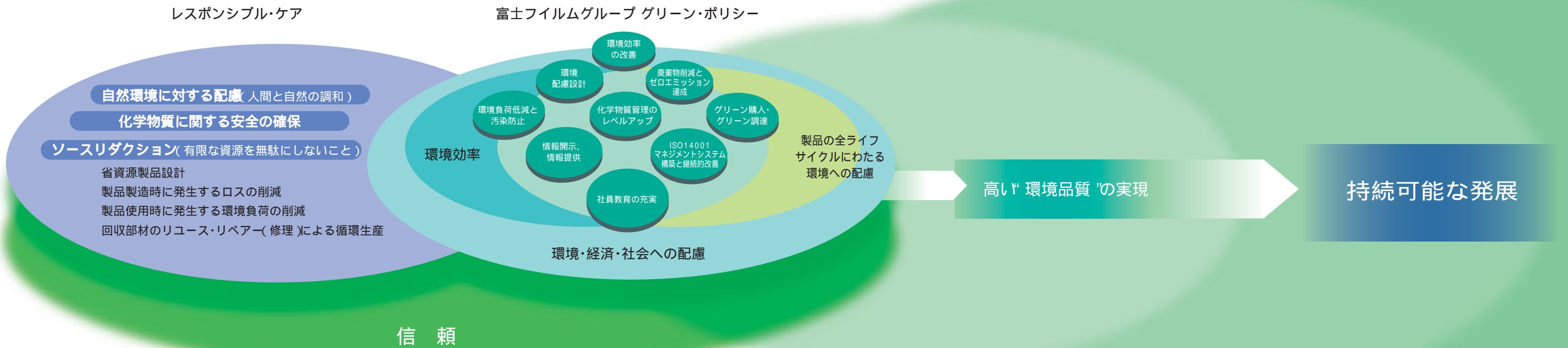


富士フィルムの環境ビジョン



富士フィルムと「信頼」

富士フィルムの主要製品である写真フィルムは、使用前にその品質を確かめることができません。一度露光してしまえば、二度とフィルムとして使用できなくなってしまうからです。写真フィルムは「信頼」を買っていただく製品であり、「富士フィルムの製品は、いつでも安定した高い品質を有している」という信頼の深さと広がり、私たちを支える揺るぎない基盤になっています。

品質と並んで、信頼につながる重要な要素に挙げられるのが「環境保全」です。フィルムの製造にはきれいな水が必要なこと、またカラーネガフィルムで使用する銀は希少資源であることなど、私たちは環境から多くの恩恵を受けています。富士フィルムは創業以来、「環境保全」を企業経営の最優先課題として取り組んできました。今日、グローバルな視点から見ても、環境課題はますます重要性を増し、環境への取り組みは富士フィルムが考える「信頼」のために不可欠なものとなっています。

「写ルンです」の循環生産

富士フィルムの「環境保全」への取り組みの一例が、
 リデュース (省資源・省エネ・廃棄物の発生抑制)
 リユース (再使用)
 リサイクル (再生利用)

の3Rです。「リデュース」を追求することはもちろん、一度資源に戻して再利用する「リサイクル」よりも品質保証をしたのち再度部品として活用する「リユース」を上位の概念として、できるだけ「リユース率」を向上できるような製品開発に取り組んでいます。その代表例が『写ルンです』の循環生産システムです。「設計 生産 使用 廃棄」という製品の一般的なライフサイクルに対し、「写ルンです」では、「設計 生産 使用 回収 分解・検査 再使用・再生利用 生産」(インパース・マニュファクチャリング)というシステムを実践しています。

1998年には同じ建物の中で「生産」と「リユース・リサイクル」を一貫して行う『写ルンです』循環生産工場』を建設しました。世界に先駆けて「インパース・マニュファクチャリング」を実践した先駆的事例として、学会・産業界からも高く評価されています。

富士フィルムが考える「持続可能な発展」

私たちは、これからも引き続きお客様からの「信頼」を中心に据え、より高い「環境品質」を実現するために、以下の3つの考え方に基づいて取り組みを続けていきます。

- 1) Triple Bottom Line 環境面 (地球環境の保全) 社会面 (企業の社会的責任) 経済面 (企業の成長・発展) を総合的に配慮する。
- 2) Eco-efficiency 環境効率 = $\frac{\text{製品・サービスの価値}}{\text{環境負荷}}$ を上げる。(環境負荷を減らしながら価値を上げていく)
- 3) Life Cycle Thinking 製品の全ライフサイクルにわたり環境に配慮する。

この考え方に基づき、富士フィルムは2002年度、新たな中期環境方針として「富士フィルムグループ グリーン・ポリシー」を制定しました。富士フィルムグループ全体が、環境諸課題に対する確実で一歩先行した取り組みを行うことにより、企業体質・製品・サービスにおける高い「環境品質」を実現し、「持続可能な発展」へと結び付けていきます。